

2021 年度国家予算法の承認

昨年 12 月 29 日に 2021 年度国家予算法がアリエフ大統領によって承認されました。そのポイントと詳細についてご報告いたします。

【ポイント】

- 予算基準油価は、引き続き不透明な世界経済情勢に鑑み、ここ数年の実績と比較して低めの 1 バレル 40 米ドルで設定されました(注:2019 年度は 60 米ドル、2020 年度は当初 55 米ドルで設定されましたが、年度途中で 35 米ドルに再設定。)
- 歳入・歳出共に前年を上回り、歳入は前年比 5.4%増、歳出は前年比 3.8%増と過去最高規模となりました。
- 歳入に関し、国家石油基金(SOFAZ)納入金、及び税・関税収入は前年と同水準となり、公的債務基金からの約9億マナト(歳入全体の約4%)の借入れによって予算を上乗せした形となります。なお、SOFAZ 納入金(石油ガス収入)は歳入全体の約 5 割と依然として大きな割合を占めています。
- 歳出に関し、「経済活動費」が歳出全体の2割(約 59 億マナト)を占め金額でトップとなり、その内の約 22 億マナトが新たに設けられた「解放地域の復興事業費」に割り当てられています。国防費は2番目に多く、前年比2割増の約45億マナト(歳出全体の16%)と大幅な増額となりました。国民に直接裨益する「公共サービス」「社会保障」「教育」等への支出も増額となっています。

【予算の詳細】

(1) 歳入総額

約254億マナト(前年比5.4%増)

(2) 歳入内訳(括弧内は前年比、全体に占める割合(2020年→2021年)の順)

● 国家石油基金(SOFAZ)納入金:約122億マナト(前年と同額、50.6%→48%)

● 税収入:約98億マナト(+1.2%、41%→39%)

その内:

・法人税:約21億マナト(▲5.5%、9.4%→8.4%)

・個人所得税:約11億マナト(+1.8%、4.7%→4.5%)

・間接税:約47億マナト(+2.4%、19.1%→18.5%)

● 関税収入:約9億マナト(+1.1%、3.8%→3.7%)

●その他:約24億マナト(+91%、5.2%→9.5%)

その内、公的債務基金から約9億マナトを初めて借入れ

(3)歳出総額

約285億マナト(前年比3.8%増)

(4)歳出内訳(括弧内は前年比、全体に占める割合(2020年→2021年)の順)

●経済活動費:約59億マナト(+2%、21.2%→20.8%)

その内、「建設・街づくり費」に約50億マナトを割り当て(内、「公共投資」に約28億マナト、「解放地域の復興事業費」に約22億マナト)

●国防費:約46億マナト(+20.5%、13.8%→16.1%)

●公共サービス:約42億マナト(+8.3%、14%→14.6%)

●社会保障:約37億マナト(+14.1%、11.8%→12.9%)

●教育:約33億マナト(+8%、11%→11.5%)

●司法、法執行機関、検察:約20億マナト(+8.1%、7%→7.3%)

●保健:約14億マナト(▲17.9%、6.2%→4.2%)

●農業:約9億マナト(+5.1%、3.7%→3.3%)

●その他:約24億マナト(▲23.7%、8.2%→5.2%)

(以上)